

## 2学年通信

## Practice Makes Perfect

担当：原

## 《“怠け心”と戦うということ》～『神さまに好かれる話』小林正親～

ある有名な禅宗の寺で三泊四日の「座禅体験会」があり、私の友人が参加しました。

座禅体験会の感想はそれなりに興味深いものだったのですが、私が最も興味を持ったのは次のようなことでした。そのときは10人ほどの参加者だったそうですが、解散のとき、数人の若手雲水(修行僧)が「何か質問があれば、どうぞ」と、質疑応答がありました。

いくつかの質問のあと、中年の女性が、「一番辛い修行は何ですか」と尋ねました。数人の雲水は互いに顔を見合っていたそうですが、「私が答えてよろしいですか」と、一人の雲水が進み出ました。

「他の方はわかりませんが、私自身のことでお話しします。ここは冬はとても厳しい寒さで、冬の朝の寒さはとてもこたえます。当番で朝の鐘を撞(つ)くとき、もちろん素足で足袋はありませんし、日も昇っていません。一回撞くごとに石の上に座り、礼拝します。肉体的にはこれが一番でしょうか。でも本当に辛いのはそんなことではありません」

参加者は皆、身を乗り出したそうです。

「私たち修行僧には、掃除の担当が決められていて、ある人はこの廊下、ある人はこのお堂というように、割り当てられています。しかし、その掃除を見に来る人、チェックしに来る人はいないんです。その廊下はまる一日使われないこともあるし、誰が見ても綺麗で、今日掃除をしなくても、誰にもわからない。つまり、さぼって手を抜いてもいいわけです。掃除をしないことが上司や先輩にわかったとしても、誰も何も言いません。怠けてもかまわない。そういうときの“怠け心”と戦うことが、私にとっては一番辛いことです。誰かが管理し、見に来る、チェックしに来る、怒鳴ってくれる、というシステムのほうが、ずっと楽なんです。人が見ていなくても“仏さま”は見ています。この心の葛藤、自分との戦いが、自分にとっては最も辛い修行です」

私はこの話を聞いて、「その雲水はすごい人だ」とうなってしまうました。多分、本音だったに違いありません。それを「最も辛い」と認識していること、その分析の見事さに加えて、人前で(しかも仲間の雲水もいるところで)そんなことが話せること。

それは、“僧”としてのテーマを自分なりに強く認識しているということでもあるからです。

人は日々の生活の中で、どうしても自分に甘くなってしまいます。少しでもこの雲水さんの考えが実践できるように努力したいですね。

そのためには、毎日を漠然とすごすのではなく、一つ一つテーマを持って生活をするのが大切ということですね。

## 《人は一人では生きられない》

「人は一人では生きられない」そう聞いて、君たちは何を思いますか？きっと真っ先に家族や友人・先生との関係が頭に浮かぶと思います。私たちは、色々な人たちのおかげで生活することができています。身近な人たちに感謝することはとっても大切なことです。

せっかくなので、ここで少し視点を変えてみましょう。私たちの身の周りにあるものを見てください。ノートや筆記具はもちろん、洋服や日用品そして食べ物にいたるまで、消耗しても簡単に手に入るもの

がたくさんあります。しかし、私たちはそれらの物を何一つ、自分ひとりの力で作ることはできません。それどころか、それらを作って私たちの元に届けてくれる人たちのことさえ、私たちは知りません。そうです。忘れてはいけません。日本中の、いや世界中の人たちのおかげで、私たちの生活が維持されているのです。

そう考えると、私たちも間接的に人の役に立っているということです。それは、決して特別なことではなく、一人一人が、「今自分にできることを精一杯行う」ことで実現することなのです。

今の世の中、「お金を払っているのだから…」、「お客だから…」という横柄な考えをする人が増えているようです。とても残念なことです。私たちの生活が充足していることを知り、あらためて世界中の人たちに感謝することができれば、世の中はもっと良くなるはずですよ。

最後に一言、「吾唯知足(われただたるを(る))」

文責：原

## ☆1月(睦月)の行事予定・月訓『希望』

1	月	元日	20	土	第3回後援会役員会
8	祝	成人の日	21	日	全商情報処理検定試験 第3回実用英語技能検定(一次)
9	火	始業式 身だしなみ指導	22	月	2年朝礼 一般入試準備(3限授業・昼・準備)
10	水	基礎力試験(国・数・英) 武藤杯 ベネッセ総合学力テスト	23	火	一般入試(在校生休校)
11	木	ベネッセ総合学力テスト	24	水	
12	金		25	木	
13	土	大学入学共通テスト①	26	金	実力診断テスト(1～3限)
14	日	大学入学共通テスト②	27	土	
15	月	推薦・特色入試準備(3限授業・昼・準備)	28	日	全商簿記実務検定試験
16	火	推薦・特色入試(在校生休校)	29	月	1・2年朝礼(反省)チャレンジO週
17	水		30	火	
18	木		31	水	
19	金	情報技術検定			

## ☆『負けてたまるか大作戦』

正月2日、3日は、「箱根駅伝」を見て過ごした。今年は昨年優勝した駒澤大学の『一強』の声が各方面から発せられていた。スポーツは何が起こるかわからない。結果は青山学院が『大会新』での優勝。皆さんはどのような印象を持っただろうか。駅伝はすべてが同じ競技会ではない。出雲＝6区 45.1km、全日本＝8区 103.8km、箱根 10区 217.1km。走る人数も距離も全く違うレース。第100回箱根駅伝の結果は、駒大の驕りでも青学のまぐれでもない。できる限りの準備をした者同士が覇を競った結果だ。もちろん両校だけではない。各校それぞれの思いが詰まった大会であった。

何事においても『段取りが大事』。年始にあたり肝に銘じた次第である。 ～～～ Team Blue-2 Manager ～～～